



利用者200万人突破

川崎市ハケ岳少年自然の家の開所以来の延べ利用者数が200万人を突破しました。100万人を突破したのは1977年の開所から20年たった1997年でした。それから14年で200万人になりました。4月27日から利用した土橋小学校と京町小学校の中の誰かが丁度200万人目に当たっていたのです。団体です。誰かが200万人目が特定が出来ませんが、この学校の生徒に、利用者200万人達成記念の記念植樹をしていただきました。ところで延べ利用者数とは2泊3日で利用した場合、泊数は2ですが延べ利用者数は3として数える方法です。全国の少年自然の家ではこのような数え方をしています。さて、この14年の間に少年自然の家に併設されていた市民休暇村が閉所になり、施設そのものが少年自然の家に移管されました。そのため少年自然の家の宿泊定員が531名になりました。宿泊定員が増えたので、今まで一部箱根の施設を利用していた中学校の自然教室が、川崎市内全校52校がハケ岳少年自然の家を利用するようになりました。小学校は113校ですから、全ての小学校、中学校が利用するようになったわけです。こんなことが初めの100万人突破に20年かかったのに、次の100万人達成は14年と、以前に比べると短期間で達成した理由の一つと思われます。

所長就任挨拶（所長のひとりごと 28）

所 長 春 山 明 裕

ハケ岳にもやっと遅い春がやってきました。4月の人事異動にて3年ぶりに自然の家に戻ってきて、この自然の家が川崎の子どもたち、市民の皆様にとってかけがえの無い施設だと改めて感じ、良い意味変化がないことに安心いたしました。小学校、中学校の自然教室、子ども会などの団体活動で多くの方々に親しまれ、会話の中では「ハケ岳」といえばこの自然の家のことを示すような身近な存在です。新しい年度の始まりとして、今までの良い環境はより発展させ、利用者の目線から改善しなければならない点は思いっきり方向転換をして、今まで以上に川崎の子どもたちが思い出と感動を得られる場所にしたいと考えております。

東日本大震災の報道を見ていると、子どもたちが大人たちを元気づけ、癒している様子が度々流されています。川崎市ハケ岳少年自然の家も、子どもたちが発する勇気と元気を源に進んで行きたいと考えております。

がんばろう日本。元気があれば何でもできる！

2011. 5. 1

主催事業

3月、4月に実施した事業についてお知らせします。

自然紀行①春の美術館めぐりと花

回顧

4月16、17日、参加者3名で実施しました。始めに諏訪湖端のガラスの里・北沢美術館へ行き、ガラス製品やガラスを始めとしたガラスアートの数々を観賞しました。

その後、高島城へ行き、城に咲く情緒ある桜の花を観賞しました。

少年自然の家は標高1225mのところにあるので梅も桜もまだですが、760mの諏訪湖周辺では桜が見ごろになっています。夜は月明かりのある星空でしたが月面や土星を観察しました。翌日は実原の桜など周辺の桜を見たり、須玉にある「おいしい学校」を見学しました。

ここには明治、大正、昭和の木造校舎が残っていて、その校舎を利用して宿泊も出来たり、食事も出来たりする施設です。古い木造校舎を見て参加者は懐かしさ一杯、大感激でした。その後、ミレーの作品を収蔵しているので有名な山梨県立美術館へ行き、「種をまく人」「落穂ひろい」などミレーの代表的な作品を鑑賞しました。



ふじみ星空観察会

3月11日、4月22日に実施しま

した。3月は東日本大震災の当日でした。事前の申込受付をせず、毎回自主的に参加された不特定の方を対象に行っています。そのため中止の連絡が出来ませんでした。それで実施したところ9名の参加者がありました。雲が多く、天体望遠鏡では雲を通して月面しか見ることが出来ませんでしたので、天文の解説を時間を掛けて行いました。4月は生憎の雨空で星空を見ることは出来ませんでした。曇りでも雨が降っても宇宙に関する話をするのが星空観察会です。それを楽しみに来る人もいます。今回は、4月の星空の解説と正確な方位の求め方（方位磁石は正確ではない）、春分秋分の日の昼の長さとの夜の長さの違いが何故起こるのかを解説しました。参加者は4名でした。

カントリーヘッジ

カントリーヘッジとは人工物をまったく使わない柵のことで、虫や土壌生物の住処になり、それらの生物によって、ゆっくり分解され土に還ります。道の境界や、通せんぼに使ったりしますが、森を整備するときに出る落ち葉や枯れ木を燃やさずにきれいにするため、こんな方法を試して見ました。冬の間に落ちた枝で柵を作り、中には落ち葉を積んであります。斜面の土留めにもなり、やがて昆虫や植物、鳥たちに利用され、森の循環がうまく回っていくことを願っています。ちょっとした雰囲気もあり、一人に一人にのんびりしています。



(K)

フログより

少年自然の家のホームページにブログを掲載しています。職員が投稿したものを掲載しているのですが、ご覧頂いているでしょうか。今まで掲載したものの内、最近のものを紹介します。

●4月16日(土) 晴れ 正午気温17.5度 今年もカタクリの花が咲きました。まだ冬支度の森の落ち葉の中から、いち早く葉を出して早春の日の光を一身に集めています。気温が17℃になると、花粉を運んでくれる昆虫が活動し始めるので開花するそうです。気温を見るとちょうど17度でした。毎年少しずつ株が増えていて、今年は全部で33株、花芽を付けている株が10株でした。(・・・*)

●4月13日(水) 晴れ 正午気温

16.8度 今日は全所員で、側溝の落ち葉を清掃したり、キャンプ場など外の施設に落ちた枯れ木などをきれいに拾い集めたりという春の全体作業が行われました。ようやく暖かくなり、野鳥たちが声高にさえずる春の森の中で、気持ちのいい汗をかきながらの作業でした。



カタクリの花

掃除が済むと冬の間空っぽになっていたせらぎの池に水を張りますが、すぐにカエルたちがやって

きて卵を産みます。昆虫たちもやってきて、自然教室が始まるころにはにぎやかな池になります。楽しみにしててくださいね。(・・・*)

●4月9日(土) 雨後晴れ 正午気温 10.5度 今年度から少年自然の家の布団が新しくなりました。掛け布団はこれまでの化繊綿に替わって、なんと羽毛布団です！敷布団も羊毛のしっかりしたもので寝心地抜群です。毛布や枕も新しくなり、お客様に快適にお休みいただけるものと思います。自然教室でいらっしゃる生徒さん、枕投げでマンガのように羽毛を撒き散らさないくださいね！羽毛アレルギーのある方は事前にお知らせください。アレルギー対応のお布団をご用意いたします。(・・・*)

●4月4日(月) 晴れ 正午気温9.1度 4月3日、4日と2日間にわたって、川崎市の小中学校前期自然教室の実地踏査が行われました。小中あわせて153名の先生方が実際にハイキングコースの山に登ったり、オリエンテーリングコースをまわったり、バーベキューや野外炊飯を試みたりと熱心に下見をしていただきました。山にはまだ所々雪が残っていましたが、自然教室に来る季節を想像しながらの実地踏査になりました。川崎では桜の花がそろそろ見ごろを迎えるそうですが、八ヶ岳では今マンサクの花が満開です。いつも通りの一年の始まりですが、それがどれほどありがたいことが強く感じました。(・・・*)

< <http://www.kawasaki-yatugatake.jp/> >

催しもの案内

ハヶ岳ふれあいイベント

土曜日、日曜日、祝日にグループ、家族でご利用いただく方を対象に、午前1回、午後1回、次のようなプログラムを用意しております。参加費無料、材料費のみ。星空観察は参加費無料。参加申し込み等、詳しくはお問い合わせください。

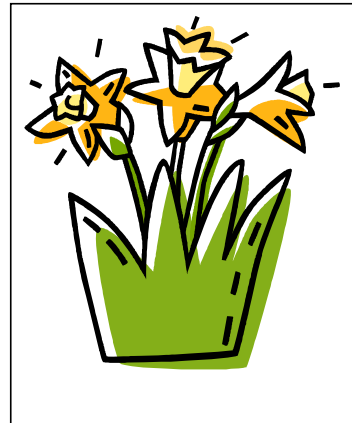
★ネイチャークラフト

小鳥の巣箱作り、バードコール作り、白樺クラフト、焼き板クラフトの中から1つを選びます。ハヶ岳での思い出に、自分で作ったものをお土産に持ち帰ることができます。

★星空観察

19時～20時30分まで、アストロハウスで満天の星空を見ながら折々の星座観察と、大型天体望遠

鏡での天体観察をします。星雲や星団などを見ることが出来ます。



ハヶ岳自然紀行

ハヶ岳の自然、地域、文化への理解を深めてもらえるように、毎月1回開催しています。多摩市民館前発着の送迎バスを運行しております。多くの皆様の参加をお待ちしています。

●春の山菜と新緑ハイキング

・新緑のハヶ岳高原をハイキングしながら、山菜についての知識を深めます。

・5月14日～15日（1泊2日）

●入笠山スズラン鑑賞と諏訪湖ウォーキング

・一面に咲き誇る80万株のスズランの鑑賞、おびさわやかな諏訪湖畔を歩きます。

・6月18日～19日（1泊2日）

●日本有数の高層湿原を歩こう

・車山、霧ヶ峰高原、八島湿原を歩いて諏訪地方の自然に触れていただきます。

・7月2日～3日（1泊2日）

費用、内容、申し込み方法等、詳細についてはお問い合わせください。

あとがき

新年度が始まりました。東日本大震災被災地のニュースで明るい気

分になれませんが、自然教室が始まり、ピカピカの中学1年生の元気の良い姿と声に元気をもらい、気張っているこの頃です。4月から指定管理第2期が始まり、合わせて人事異動で新所長が着任し、気分一新、気合を入れています。また、この4月末で開所以来の延べ利用者数が200万人を突破しました。今年度も大過なく運営できるよう頑張ります。

川崎市八ヶ岳少年自然の家

〒399-0101 長野県諏訪郡富士見町境字広原

12067-482

Tel 0266-66-2011

Fax 0266-66-2014

ホームページでも情報をお伝えしています。

<http://www.kawasaki-yatugatake.jp/>

指定管理者 (社) 富士見町開発公社